

価値創造を担う『技術リーダー』を 育成するR&D現場の仕掛け

～ 技術者、研究者が目指す新たな人材像 ～

《開催要領》

- 日 時● 2017年7月19日(水) 10:00～17:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師

株式会社ケミストリーキューブ 代表取締役
イノベーションコンサルタント 平木肇 氏



講師紹介

92年筑波大学を卒業、シャープ(株)入社。エンジニアとして先端電子デバイスの研究開発・製品開発・生産技術開発に取り組む。通産省(当時)主幹の次世代研究プロジェクトに参画。99年(株)日本能率協会コンサルティング入社。14年間にわたり、技術経営(MOT)、イノベーションマネジメント、研究開発(R&D)マネジメントを主領域としたコンサルティングに従事。2014年(株)ケミストリーキューブ設立。“技術人材の知恵を、価値を創り出す力に変える”をコンセプトとして、ものづくり企業・技術系企業の技術力の強化と人材の開発を支援している。

《開催にあたって》

ものづくり企業のR&Dにおいて、QCD(Quality Cost Delivery)を最適化して送り込む実現力に加え、顧客の課題を先取りし、イノベーションを生み出す価値創造力が求められるなか、これまでのマネージャーとスペシャリストとは異なる新たな技術人材、すなわち『技術リーダー』の重要性が高まっています。そこで、技術者、研究者が目指す第3のキャリアとして『技術リーダー』を設定する企業が増えています。しかし、実際には、『技術リーダー』の組織内における役割や位置づけ、育成に対する考え方や取り組みが具体化されておらず、十分機能していない例も多く見られます。本セミナーでは、技術を核とした価値創造の中核を担う新たな技術人材をテーマに、その人材像及び育成のための考え方や現場における仕掛けについて、(株)ケミストリーキューブが開発した実践的な手法を交えて解説します。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

FAX:03-5215-0951

*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・昼食代含)

正会員 41,040円(本体価格 38,000円) 一般 45,360円(本体価格 42,000円)

171092-1010 『技術リーダー』を育成するR&D現場の仕掛け			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職 職	
E-mail			

- 参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- ※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(「TOP」→「公開セミナー」→「よくあるご質問」)
- ※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願い致します。
- お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

価値創造を担う『技術リーダー』を育成するR&D現場の仕掛け

7/19
(水)

10:00

1. 変化するR&Dのミッションと現場の悩み

- (1) イノベーションの時代
 - ・ものづくり企業を取り巻く変化
 - ・イノベーションとは「価値の創造と具現化」
- (2) 変化するR&Dのミッションと現場の悩み
 - ・経営戦略・事業戦略との整合から創発へ
 - ・R&D現場の悩み
- (3) イノベーション戦略の実践
 - ・イノベーションにおける3つのアプローチ
 - ・イノベーション戦略の3つの着眼
 - ・各社の取り組み

2. R&Dにおける新たな技術人材像

- (1) 技術リーダーとは
 - ・イノベーション戦略のコア人材
 - ・技術の5階層モデルと技術創造のUカーブ
 - ・技術者、研究者の第3のキャリア
- (2) 技術リーダーの役割と位置づけ
 - ・マネジメントとリーダーシップ
 - ・技術リーダーとスペシャリストの違い
- (3) 技術リーダーのスキルとマインド
 - ・目利き ～複眼的な視角と複合的な思考～
 - ・4つのコミュニケーションスキル
 - ・革新マインド ～前向きな学びを引き出す力～

3. 技術リーダーを育成するための現場の仕掛け

- (1) 2つの学習理論とアクティブ・ラーニング
 - ・人材育成の原則
 - ・基本は「経験学習」
 - ・「考え方」が仕事の成果の鍵を握る
 - ・意図的に「ダブルループ」学習を作り出す
 - ・人材育成の現状の課題
 - ・アクティブ・ラーニングのコンセプト
- (2) 技術の構造化 ～自ら技術を捉えなおす～
 - ・「技術を捉えなおす」とは
 - ・技術の構造化手法: i Map (アイマップ)
 - ・i Mapの実践プロセス
 - ① 価値コンセプトの設定 ～顧客価値の可視化～
 - ② 技術の洗い出しと噛み砕き ～技術の機能と構造～
 - ③ 技術の評価 ～コア技術・基盤技術・差異化技術～
 - ・「ワイガヤ」による実践
 - ・i Mapが生み出す「気づき」
- (3) 技術リーダーの育成に向けて
 - ・技術リーダー育成を促進する3つの要素
 - ・技術リーダーの様々な形
 - ・「やってみる」を促進する組織文化

4. 実践事例の紹介

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

17:00

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。